

パイロットフォレストにおける野生動物自動撮影調査について（速報）

釧路湿原森林環境保全ふれあいセンターでは、パイロットフォレストにおいて7月6日から27日までの3週間、自動撮影カメラによる野生動物撮影調査を行いました。今年度は7月と9月の年2回調査予定ですが、7月の調査は機材の操作・設定・集計等に慣れるための準備段階の調査と位置付けています。今回はカメラを合計13台設置。設置箇所は当地域の特徴である別寒辺牛湿原を周回する林道等の周辺としました。

調査の結果(速報)、哺乳類ではヒグマ、エゾシカ、エゾタヌキ、キタキツネ、ミンク、エゾシマリス、鳥類ではヤマシギを撮影しました。まだ全ての画像を現像していないため、この他にも撮影されている動物がいる可能性があります。



エゾシカの親子(7月8日 9:45撮影)



ヒグマ(7月16日 17:33撮影)



エゾタヌキ(7月7日 19:09撮影)



ミンク(7月26日 20:42撮影)



エゾシマリス(7月20日 5:52撮影)

中央少し右下に小さく写っています。



キタキツネ(7月20日 22:24撮影)